

令和2年度 大阪府資金保管・運用実績

本府では、引き続き厳しい財政状況の中、公金の安全性を確保しつつ、より有利な運用を行うため、「大阪府資金保管・運用方針」に基づき、効率的な管理に取り組んでいます。

令和2年度の保管・運用実績は以下のとおりです。

■保管・運用の状況

- 日本銀行が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」（平成28年1月）及び「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」（平成28年9月）を導入して以来、市場金利は低位で推移し、令和2年度も運用環境は厳しい状況。
- 新型コロナウイルス感染症への対応による資金需要の増加により、本府の運用可能な資金量は減少。
- このような中、定期性預金を含めた本府全体の資金運用額は前年度に比べ減少したものの、運用期間の長い債券の残高が増加したことにより、運用利回りは上昇し、運用利息の総額は増加。

主な保管・運用方法

- 当面の支払いに充てる必要のある資金等については、指定金融機関（公営企業会計は出納取扱金融機関）の当座預金等で保管。
- 運用可能な資金については、借入債務等との相殺により保全されている定期性預金又は国債等の元本の償還が確実な債券による運用を実施。

保管・運用実績(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

第2表

運用種別ごと1日あたりの平均残高及び年間利息

(各項下段()は令和3年3月31日現在高)

資金種別	運用種別			利息※2 平均利回り 万円	保管 (当座預金等) ※3 億円
	定期性預金 運用	債券 運用	計 億円		
歳計現金・ 歳入歳出外現金※1	382 (0)	1,160 (1,158)	1,542 (1,158)	20,892 0.135%	※6 5,319 (10,978)
基金※4	0 (0)	86 (81)	86 (81)	7,194 0.841%	9 (9)
公営企業会計に 属する資金※5	24 (0)	30 (30)	54 (30)	367 0.067%	510 (579)
令和2年度	406 (0)	1,276 (1,269)	1,682 (1,269)	28,453 0.169%	5,838 (11,566)
対前年度比	39.8% (0.0%)	114.2% (102.9%)	78.7% (63.0%)	101.0% (128.0%)	80.8% (125.9%)
令和元年度	1,020 (781)	1,117 (1,233)	2,137 (2,014)	28,163 0.132%	7,226 (9,187)

(下段()は令和2年3月31日現在高)

- ※1 歳計現金とは一般会計及び特別会計に属する地方公共団体の歳入歳出に係る現金をいい、歳入歳出外現金とは契約保証金など歳入歳出予算として予算に計上されない現金のことをいう。また、歳計現金・歳入歳出外現金及び基金(※4を除く)は歳計現金で一括運用している。
- ※2 利息は期間中の受取額ではなく、4/1～3/31の期間中の運用利息を日割り計算して算出。
- ※3 当座預金等とは、支払い準備等に充てるため保管している当座預金、普通預金などの流動性預金。
- ※4 基金(公営企業会計に属する基金を除く)に属する現金を歳計現金で一括運用せずに運用しているものを表示(日本万国博覧会記念公園基金)。
- ※5 公営企業会計に属する基金を含む。
- ※6 公営企業会計に属する資金を一般会計へ繰替えて運用している額を含む。(1日あたりの平均残高 6億円 令和3年3月31日現在高 0億円)
- ※7 運用・保管を合計した全資金の利回りは、令和2年度 0.0378%(令和元年度 0.0301%)。

〔 <参考> 令和3年3月末現在の都市銀行店頭表示金利(全国平均)
定期性預金(大口定期預金) 0.003%[1ヶ月]0.003%[3ヶ月]0.003%[1年] 〕